

最近の手口と日頃から実践したい注意喚起

ここでは、代表的な特殊詐欺の手口や最近の傾向を押さえ、日頃お客様にどのように注意喚起したらよいか解説します。

金指光伸

①オレオレ詐欺



1 代表的な手口と最近の傾向を押さえておこう

②架空請求詐欺



架空請求詐欺は、相手の後ろめたさ、思い当たる節といった心理を悪用した犯罪です。代表的なのが、アダルトサイトなどの動画をクリックしたことで代金の請求を受けるケースです。また、総合情報サイトの利用により「お試し期間が過ぎたのに退会手続きを取らなかったため、利用料金を請求する。支払わなかった場合は訴訟を起こす」といった文言が記載されたメールが送付される手口もあります。こうした文言に不安を覚えて指定された宛先に連絡し、利用料金を振り込んでしまう人は少なくありません。

そっくりなメールでだます

その他、大手のネット通販会社を騙って、指定金融機関の口座に送金するよう指示するものもあります。これは本物そっくりなメールのため信じてしまう人も多いようです。大手通信会社を装った詐欺では、登録情報の変更を依頼するメールへ返信させる方法で接触を図ることもあります。

実 家への電話で、親に「オレだけだ」とか「オレ、オレだよ」などと話を始める人は珍しくありません。そこを利用した犯罪が「オレオレ詐欺」です。子供を騙って「会社の金を使い込んだ」「会社の小切手をなくした」などを理由に、至急お金を振り込んでほしいと依頼します。実の子供の電話番号と異なる疑念を払拭するためもって「携帯電話が壊れたので新しい電話番号に変えた」と嘘の電話をかけてきます。実の子供と声が異なることに対し「風邪をひいた」といった言い訳をするケースが一般的です。

弁護士等の専門家を騙る

他人になりすますという点では最近、銀行協会や個別の金融機関、警察署刑事課を名乗る詐欺も増えていきます。「息子さんが痴漢で逮捕された」「お子さんが交通事故を起こした」といった話で不安をおおきく、弁護士等の専門家を騙る電話も使って信じ込ませ、示談金を用意させる手口です。